

2001年 11月 8日

報道関係者各位

杏林製薬株式会社
東京都千代田区神田駿河台2-5
(証券コード 4560 東証一部)

**ニューキノロン系合成抗菌剤『ガチフロキサシン』の
ドイツでの承認取得について**

杏林製薬株式会社(社長 荻原郁夫)が創製したニューキノロン系合成抗菌剤「ガチフロキサシン」につきまして、導出先のグリュネンタール社(本社:ドイツ アーヘン市)は、ドイツ連邦保健省より10月22日に承認を取得いたしました。同剤はドイツにおいてグリュネンタール社より商品名「BONOQ:ボノック」として発売される予定です。

当社は、1995年にグリュネンタール社とライセンス契約を締結し、「ガチフロキサシン」の欧州および中近東、南米の一部での開発権及び製剤の製造・販売権を供与いたしました。同社は欧州連合の医薬品審査の相互認証制度に基づき、ドイツを審査基準国として1999年12月に申請し、この度承認を取得いたしました。今後は、順次他のEU諸国での承認申請を行ないます。

「ガチフロキサシン」は従来のニューキノロン系合成抗菌剤にとって弱点であった肺炎球菌などグラム陽性菌にも強力な抗菌活性を示し、呼吸器感染症をはじめとする各種感染症に有効な新世代の合成抗菌剤として期待されております。

ニューキノロン剤のパイオニアである当社では本剤を世界的な大型製品と位置付け、グリュネンタール社(ドイツ)およびブリストル・マイヤーズ スクイブ社(米国)に導出。現在は、米国(1999年12月上市)をはじめ世界13カ国で発売されており、欧州での発売によりさらに「ガチフロキサシン」の大型化を期待しております。

以上

この件に関するお問い合わせ 杏林製薬株式会社 企画室 TEL: 03-3293-3414 FAX: 03-3293-3450

< 参考資料 >

ガチフロキサシンの特徴

- ・ 肺炎球菌などグラム陽性菌への抗菌力が増強された
- ・ 各種薬剤耐性菌（ペニシリン・マクロライド耐性肺炎球菌など）にも有効性を示す
- ・ 呼吸器感染症の主要起炎菌に対し強い抗菌力を示す
- ・ グラム陽性菌の標的酵素に対し類剤とは異なる阻害作用を示す
- ・ 光毒性が認められていない
- ・ 良好な経口吸収性と尿中排泄を示す

Grünenthal GmbHの概要

所在地：P. O. Box 50 04 44 D-52088 Aachen

年 商：1,400 Millions DM

従業員：4,732 人 （1999 年度）